

保護者各位

「自己評価のご報告」

日頃より当園の運営にご理解、ご協力をいただきまして心より感謝申し上げます。
お子さまのご入園、ご進級から早いもので一年が経とうとし色々なことを経験しながら頼もしく成長したお子様たちの姿に職員一同とても嬉しく思っております。
小規模園ならではのアットホームな雰囲気の中で、一人ひとりの豊かな個性を大切にしながら保護者の皆さまとお子さまの成長を今後も見守っていきたいと思います。

さて、先日はお忙しいなかアンケートにご協力いただき、ありがとうございます。集計ができましたので、まず「保護者アンケート結果」、次に「社員自己評価まとめ」、最後に「園としての自己評価」をさせていただきます、ここにご報告申し上げます。

1. 保護者アンケート結果に関して

「保護者アンケート結果」アルタベビー浦和常盤園

回答率：92%

No	質問項目	はい	どちらとも いえない	いいえ
1	当社の保育理念・保育目標について理解していますか	85%	15%	0%
2	当社社員はお子さんの気持ちを大切にしていると感じますか	92%	8%	0%
3	当社社員の言葉遣いや態度、服装等は適切ですか	92%	8%	0%
4	保育園内は清潔で整理された空間になっていると思いますか	92%	0%	0%
5	安全対策や感染症対策が十分取られていると思いますか	100%	0%	0%
6	お子さんが怪我をしたり、体調が悪くなったときの当社社員の対応は信頼できますか	100%	0%	0%
7	保育所で提供される食事・おやつはお子さんの状態に配慮し、工夫されたものになっていると思いますか	77%	23%	0%
8	不満に思ったことや要望を伝えたとき、当社社員はきちんと対応してくれていると思いますか	92%	8%	0%
9	当園に満足されていますか	92%	8%	0%

項目1) 当社の保育理念・保育目標について理解していますか。

8割の方はご理解いただいているとのご回答でしたが残り2割の方が「どちらともいえない」とのご回答でした。当社の掲げる理念として、日々の丁寧な関りによって健全な生活習慣の形成を促し、自分らしく元気な姿でより良い人間関係を自ら求め、将来国際社会で活躍できる子供を育てる。という理念がございます。乳幼児期はそのきっかけとなれるような大切な乳幼児期と考えております。

その為にも健康的な心身に欠かせない生活習慣の形成を促し、一人ひとりの個性を尊重した丁寧な関りができるように日々心掛けて保育を行っております。

項目2) 当社社員はお子さんの気持ちを大切にしていると感じますか

こちらは9割の方から「はい」との回答をいただきました。「どちらともいえない」との回答も1割の方からご意見を頂戴いたしました。改めて日々の保育を振り返りお子さま一人ひとりと向き合った保育を意識して行っていききたいと思っております。

項目3) 当社社員の言葉遣いや態度、服装などは適切ですか

こちら9割の方から「はい」との回答をいただきました。子どもたちにとって言葉の習得の大切な時期となりますので、身近で過ごしている私たち保育士がしっかりとお手本となれるよう正しい言葉・丁寧な言葉かけができるように職員間でも改めて認識を深めていきたいと思っております。今後も、お子様たちにとって正しい言葉の習得の見本となれるよう職員一人ひとりが意識の向上に努めて参りたいと思っております。

項目4) 保育園内は清潔で整理された空間になっていると思いませんか

1割の方が「どちらともいえない」との回答をされており、一部の方に不快感をあたえてしまった事について深く反省しております。毎日の保育室やトイレの清掃・玩具の消毒などを徹底しておりますが、全ての保護者様にご満足いただけていない点については改めて保育環境の見直しを行い、整理整頓を含めて改善を図っていききたいと考えております。

項目5) 安全対策や感染症対策が十分とられていると思いませんか

こちらはアンケートにご回答いただいた皆様より「はい」とお答えをいただきました。引き続き、気を引き締めお子さまの怪我や感染症対策をしっかりと行っていききたいと思っております。保育園は集団生活の場でもあるため、感染症が発生しやすい環境下ではございますが今後ともしっかりと予防対策を講じ、早期発見に努めて保護者の皆さまへも情報共有を行っていききたいと思っております。

項目6) お子さんが怪我をしたり、体調が悪くなった時の当社社員の対応は信頼できますか

こちらに関しましては「はい」とご回答された方が100%の結果となりました。

お子さまの怪我が起きないように安全面に十分に気を付けておりますが、お子さま同士のトラブルによる怪我や、戸外で元気よく遊んでいる時に転倒して怪我をしてしまうという場面もございます。

子どものトラブルによる怪我に関しましては、関りを見守りつつも怪我に繋がらないように、保育士が仲立ちとなりながら未然に防げるように努めて参りたいと思います。

今後も怪我や事故などが起きた際には保育者間で必ず共有し、対応策を話し合い同じようなことが起こらないように保護者様にもきちんと伝えさせていただきます。引き続き安心してお子さまを預けていただけるように取り組んでまいりたいと思います。

項目7) 保育所で提供される食事・おやつはお子さんの状態に配慮し、工夫されたものになっていると思いますか

こちらは「はい」と答えた方が7割、「どちらともいえない」とご回答された方が3割という結果となりました。

お子様たちにとって、給食が楽しい時間となるよう、また、美味しいと思っていただけるように調理方法を工夫したり、盛り付けを工夫したり取り組んで参りたいと思います。また、苦手な食材があるお子さまには「おいしい」と言って食べられるような雰囲気づくりや一口でも食べることができた際には職員皆で喜びお子さまの自信へ繋がられるような工夫をしていきたいと思っています。

また、食育活動では旬のものを食べたり、食材に触れて給食やおやつの際に提供し興味や関心を持っていただけるよう提供しております。

今後もお子様たちにとって「たのしい・おいしい」を目指しながら、保護者の皆さまへもご満足いただけるよう努めたいと思います。

項目8) 不満に思った事や要望を伝えた時、当社社員はきちんと対応してくれていると思いますか

9割の方にご満足しているという回答をいただくことができました。一部の保護者様へのご不安を与えてしまった結果となってしまいましたことをしっかりと反省し、今後はお子さまを預けられている皆さまが相談しやすい雰囲気づくりを職員一同で考えながらより良い関係を築いてまいりたいと思います。

項目9) 登園に満足されていますか

こちらは9割の方にご満足いただいている結果となりました。登園をご利用されるすべての方にご満足いただけるように、皆様のご意見も頂戴しながらより良い保育運営に繋げち

けるように精一杯取り組んでいきたいと思いをします。

2.社員自己評価に関して

職員一人ひとりが今後も向上心を持って業務に取り組めるように、これまでの一年を振り返りながら課題点も含めてご報告させていただきます。

・当社姿勢目標の順守に関して

① 困難なことに自ら取り組む

・個々の持つ能力を伸ばせるよう職員のチャレンジしたいという気持ちを大切に、積極的に取り組んでもらえるような環境づくりを心掛けております。

「できない」を探すのではなく「できる」工夫を職員間で意見を出し合いながら取り組んでおります。

また、子ども達や保護者の方に見られていることを意識し、服装、言動、言葉遣いに気を付け、職員への挨拶や感謝を忘れずに過ごすようにしている。

② 報連相の徹底

・報連相の徹底では、遅番で起きた出来事や保護者の方からの連絡などは早番の保育士にホワイトボードなどを利用して伝えられるよう連携を取っている。

ホワイトボードだけに頼らず、口頭でも共有した上で記録を取り職員全員が認識し漏れがないように引き続き指導してまいります。

③ 得意分野の深化

・それぞれが得意なことを互いに把握し、中心となり連携を取りながら業務に取り組む姿が見られました。

④ 規律の順守

・社内ルールを守りながらお互いに気持ちよく働くことができるように、まずは元気な挨拶を習慣としました。出勤してからの「おはようございます」退勤する際の「お疲れ様でした」業務中のやり取りの中での「おねがいます」「ありがとうございます」を全職員が意識して取り組むことができていると思いをします。

⑤ 安心・安全な労働環境の確保

・5S（整理・整頓・清掃・清潔・躰）の励行については、整理整頓の部分で改善が必要だと感じています。限られたスペース内での収納の工夫も含め、近隣の姉妹園へ協力を依

頼することも必要だと思っております。また、保育室の玩具棚や絵本棚など子ども達が自分から出し入れしやすいようにするとともに片付けの習慣を楽しく身につけられるような工夫もしていきたいと思っております。

休憩はお子さまのお昼寝の時間帯にローテーションで一時間ずつとっており、休憩中は自分の時間を持てるように保育室の一角にスペースを設けています。

業務状況などにより休憩時間の確保が難しくなりそうな時は、お互いに声をかけ合いながら協力しながら進めております。

・コドモンを用いた保育計画に関して

2022年7月からコドモンに移行し、保護者の皆さまとの連絡帳ツールの他に、保育の指導カリキュラムもデータ上で管理しているため、書類の持ち運びの必要がなく保育者間でも情報共有がムズにできていると感じております。

職員からも子どもたち一人ひとりに合わせた目標を文例を参考にしながら、日々のねらいや保育計画の作成・実践を行うことができているとの声が届いております。また、保護者の方が提出して下さった連絡帳も保育士同士で共有することができ、保育に繋げることができているとの声も届いております。

今後も機能を十分に活用しながら、お子様たちのためにより良い保育を実践していけたらと思っております。

・保育の成果、次年度に向けた目標に関して

・文例の参考と日々の子ども達の様子を思い返してすり合わせることで子どもたち一人ひとりの成長に合わせた目標を立てることができた。また、月末に振り返りを行うことで、子ども達の成長を感じるとともに自分の保育の振り返りにも繋げられることができた。年度の後半には進級に向けて子ども達に何を保育の中で取り入れる必要があるのかが明確に分かり保育計画を立てる上でとても参考になった。

・次年度も引き続き、安心安全を意識し保育を行い、一人ひとりの発達に合わせた計画の作成をしながらより成長を促せるような丁寧な保育を心がけていきたい。

そして、興味・関心を引き出すことのできるような保育計画を立てて、実践していきたい。

・送迎時は保護者の方と限られた時間でしか日々のことを伝えることができないので、必要に応じて面談などを取り入れていくことで保護者の方の子育てに対する不安や悩みを共有し寄り添いながらお子さまの成長を共に喜び合える関係性を築いていきたい。

・進級・入園の際は環境の変化により子ども達も不安になりやすいので気持ちに寄り添いながら、安心して園生活を送ることができるように配慮をしていきたい。

3. 園としての自己評価に関して

・当社（全園共通）の保育理念に関して

現在の豊かな生活が未来へも繋がっていけるよう乳幼児期のお子さまに対する丁寧な関りを通じて健全にいるための生活習慣の形成を促し、一人ひとりの個性を大切にしながらお子さん自身が自信をもって他者とも積極的に関わっていきながらお互いに成長し合える人間関係を築けるように援助していきたいと思っております。

・当社の保育目標に関して

全園共通の保育理念達成に向けて当園独自で掲げている保育目標について以下のように紹介させていただきます。

○食育目標

【0歳児】

- ・安定した人間関係の中でミルクを飲んだり、離乳食を落ち着いた雰囲気の中で食べながら心地よい園生活を送る。
- ・色々な食べ物を「見る」「さわる」「あじわう」の経験を通じて自ら食べてみようとする。
- ・明るく楽しい雰囲気の中で食事ができるように声をかけながら食事をすすめる。

【1歳児】

- ・たくさんの食材に触れたり食べてみることで触感や味を知り食べる喜びを体験する。
- ・同じクラスの子と一緒に楽しい空間で食事をすることで、心身ともに健康な体づくりの基礎を育む。

【2歳児】

- ・スプーンやフォークなどの食具を使えるように声を掛けながら。楽しみながら正しい持ち方を知る。
- ・バランスよく食べ健康な体を育む。

○体育（+睡眠教育）目標

【0歳児】

- ・歩行が安定してきた子どもには、手を繋いで一緒に歩いたり追いかけてこのような遊びをすることで歩くことの楽しさを感じてもらえるようにする。
- ・ハイハイやずりばいの子には、日中十分に体を動かすことのできる環境を整え生活リズムを作れるようにしていく。
- ・質の良い睡眠をとれるようにするために日中は十分に体を動かしたり、五感を刺激できるような活動を取り入れる。

【1歳児】

- ・基本的な生活習慣を通じて自ら積極的に体を動かし、乳幼児期ならではの遊びを味わうことのできるようにする。
- ・楽しく体を動かすことで心地よい疲れを感じ、信頼できる保育士と一緒に安心した環境の中でゆっくりと体を休めることができるような環境を作る。

【2歳児】

- ・リズム遊びやソング遊びなどを通じて子ども達が楽しく参加できるように遊びを考え提供し体を動かす楽しさや喜びを経験できるようにする。
- ・安心して睡眠が取れる環境を作り生活習慣を身につけていけるようにする。

○徳育目標

【0歳児】

- ・子ども達の気持ちを十分に受け止め共感しながら、ふれあい遊びやスキンシップを積極的にとりながら保育者との信頼感関係の構築と愛情を伝えていくことで安心して生活を送れるようにする。

【1歳児】

- ・保育者が身近な社会の代表の一人として関わっていく中で、決まりやルールがあることを伝えながら生活を送れるようにする。
- ・友だちや保育士との生活を通して自分らしさを発揮し認められることや褒められることの心地よさを知る。

【2歳児】

- ・保育士を介しての遊びややりとりを通じて、他児との関係を築いていく中で相手の気持ちに気付くことができるようになる。

○知育目標

【0歳児】

- ・人とのかかわりの中で自我が少しずつ芽生えたり色々な感情を表出し始める時期なので、子ども達の気持ちをしっかりと受け止め共感していく。
- ・子どもが楽しいと感じていることや嬉しいと思っていることを一緒に共感し、言葉で伝えていく。
- ・日々の生活や遊びの中で気持ちを代弁するような言葉かけをすることで語彙力だけではなく表現力へ繋がっていく。また、絵本やてあそびを通じて色々な言葉に楽しみながら触れることができる。

【1歳児】

- ・遊びや生活の中で自分で考えて動くことができるよう言葉かけをしていき、その事柄や場面に対してどのように対応すればいいのかを子ども達が気付くことができるよう保育者が仲立ちしながら関わっていく。
- ・様々な体験、経験ができるように、一人ひとりの興味や発見、気づきを大切にしながら夢中になれることのきっかけを増やしていく。

【2歳児】

- ・自分の気持ちを言葉にしたり、保育者とのやり取りの中で行動と言語が繋がるような関りを遊びや生活の中で身につけられるようにしていく。

○SDGS（自然環境保護教育・人権教育目標）

【0歳児】

- ・まだ言葉が出ない時期のため保育者の表情をよく見たり、声色を聞いているので一つひとつの言葉かけを大切にしながら愛着関係を形成していく。

【1歳児】

- ・水や食べ物、玩具といった身近にあるものが当たり前のものではないことを絵本やシアターなどで知らせていく。その中で「もったいない」「たいせつに」という心を持つようなきっかけを作っていく。
- ・保育者を介して、感情を知り「おもいやり」「やさしさ」に触れる。

【2歳児】

- ・戸外活動や絵本などを通してたくさんの自然に触れる経験をして大切さを知る。
- ・性別や特性にとらわれない保育を行うことで、誰とでも平等に関わるができるように伝えていく。

以上が理念達成のために当園が日々取り組んでいる保育目標となっております。

お子様たち一人ひとりに個性があるように、保護者の皆さまや私たち保育者一人ひとりにも個性があり多くの人たちとの関りの中で、何が一番お子さまの育ちの為に良いことであるかを共に考え、形にしていくものが保育の在り方であると考えております。

その時に会ったお子さまを前にしてより良い関り方ができること。将来、活躍するお子様たちの未来のために必要となる力をはぐくむために保育者として職員一同、精一杯取り組んでまいりたいと思います。

今年度は、年度途中で施設責任者の入れ替わりなどもあり、保護者の皆さまにはご心配をおかけすることもあり大変申し訳なく思っております。

そんな中でも保護者の皆さまの温かいご理解とご協力があったからこそ、私たちも日々お子様たちの成長を見守り、やりがいを感じながら保育を進めることができたと思っております。

心より感謝申し上げます。

新年度もお子様たちの豊かな成長へ繋げられるような保育を目指し、一人ひとりが満ち足りた時間を過ごせるように子ども達と共に過ごしていきたいと思っております。

今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。